

教育研究業績書

2025年05月07日

所属：看護学科

資格：助教（臨床）

氏名：平木 早紀

研究分野	研究内容のキーワード
看護倫理学, 人間情報学, 情報工学	看護倫理, 自然言語処理, 電子カルテ
学位	最終学歴
修士（学術）, 学士（看護）, 学士（教養）	放送大学大学院修士課程修了

教育上の能力に関する事項		
事項	年月日	概要
1 教育方法の実践例		
1. 基礎看護技術演習Ⅲ 演習補助	2021年9月27日2023年12月12日	千里金蘭大学の基礎看護学演習Ⅲにおいて、清潔操作、採血、導尿、酸素管理、経管栄養、点滴静脈内注射、皮下注射、筋肉内注射の演習補助として2ベッド（5～6名）の学生指導を担当した。また、看護技術のエビデンスの検証として2グループ各5名を担当し、文献検索ならびに器具を用いた実証実験の指導、グループ発表の資料作成を指導した。
2. 基礎看護技術演習Ⅰ 演習補助	2021年9月21日2023年1月17日	千里金蘭大学の基礎看護技術演習Ⅰにおいて、演習補助として環境整備、ベッドメイキング、ボディメカニクス、移乗・移動、フィジカルアセスメント、足浴の学内演習で2ベッド（5～6名）の手技指導および事前学習チェックを担当した。また、血圧測定実技試験の試験監督を行った。学外のSPを招いてのシミュレーション演習では、肺炎急性期における患者の環境整備とバイタルサイン測定をおこなう演習のファシリテーターとして1グループ15名程度を担当し、タイムスケジュールの管理と学生同士の議論の促進、フィードバックを行った。
3. 基礎看護技術演習Ⅱ 演習補助	2021年4月6日2023年7月18日	千里金蘭大学の基礎看護学演習Ⅱにおいて、全身清拭、洗髪、陰部洗浄の演習補助として2ベッド（5～6名）を担当し、陰部洗浄の実技試験の試験監督を務めた。また、基礎看護学実習前の模擬カルテを用いた情報収集と看護展開のグループワークおよび発表会のファシリテーターを務めた。
2 作成した教科書、教材		
3 実務の経験を有する者についての特記事項		
1. 新入看護職員のプリセプター	2016年4月1日2018年3月31日	京都大学医学部附属病院において、新人教育のプリセプターとして、各年度1名ずつの看護技術獲得状況の確認や勤務を継続するうえでのメンタルサポートをおこなった。
4 その他		

職務上の実績に関する事項		
事項	年月日	概要
1 資格、免許		
1. 日本病院会 診療情報管理士	2023年3月1日	2180048
2. 日本心理学会 認定心理士	2020年6月13日	63655号
3. 看護師免許	2015年4月10日	第1798807号
2 特許等		
3 実務の経験を有する者についての特記事項		
1. ISO委員長としての活動	2018年4月1日2019年3月31日	京都大学医学部附属病院において腎臓内科病棟の教育入院プロトコルの標準化を目標とし、入院スケジュールの導入と食事指導のマニュアル作成および実施を主導した。
2. 医療安全委員としての活動	2016年4月1日2018年3月31日	京都大学医学部附属病院において病棟の医療安全委員を担当し、2017年については委員長を務めた。病棟のインシデント種類別の集計データ作成と四半期ごとの公表、重大インシデント事例の共有のため掲示物作成

職務上の実績に関する事項		
事項	年月日	概要
3 実務の経験を有する者についての特記事項		
		を実施した。
4 その他		

研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
1 著書				
2 学位論文				
1. 看護倫理学会誌の特徴語から抽出される看護倫理の主要概念の考察—多重対応分析を用いて— (修士論文)	単	2022年1月	放送大学大学院文化科学研究科文化科学専攻修士課程	看護倫理の主要概念について計量的に可視化するため、日本看護倫理学会発行『看護倫理学会誌』と日本生命倫理学会発行『生命倫理』に対して計量テキスト分析と多重対応分析による比較をおこなった。クラスター化のみによる多重対応分析では寄与率の低い結果となったため、質的基準であるコーディングを実施した結果、看護倫理は倫理的感受性と倫理教育のつながりや、徳倫理と日常倫理のつながりがみられた。
3 学術論文				
その他				
1. 学会ゲストスピーカー				
2. 学会発表				
1. 擬似看護記録から倫理的課題を自動抽出するテキストデータ分類システムの検証	共	2023年12月	電子情報通信学会ヒューマンコミュニケーショングループシンポジウム2023 (北九州市)	病院における倫理的問題事例は、第三者に相談しづらい現状がある。これを解決するため、自然言語処理AIによって看護記録から倫理的問題事例を自動抽出可能かどうかについて検証した。結果、BERTで1例のみ真陽性の検出が可能であった。(共同発表者: 平木早紀, 川原靖弘)
2. 計量テキスト分析と質的分析の比較による看護倫理の概念の考察	共	2021年11月	生命倫理学会第33回年次大会 (オンライン)	看護倫理の主要概念について計量的に可視化するため、日本看護倫理学会発行『看護倫理学会誌』と日本生命倫理学会発行『生命倫理』に対して計量テキスト分析と多重対応分析による比較をおこなった。クラスター化に加えて質的方法であるコーディングをおこない累積寄与率を51.2%に向上させた。結果、生命倫理の制度面・国際的観点の着眼と、看護倫理の実践的・教育的側面の特徴が示された。(共同発表者: 平木早紀, 川原靖弘)
3. 看護倫理学会誌の特徴語から抽出される看護倫理の特性の考察—テキストマイニングを用いて—	共	2020年12月	第28回人間情報学会 (東京都千代田区)	看護倫理の主要概念について、医療系倫理学会誌の投稿論文から可視化することを試みた。計量テキスト分析により『看護倫理学会誌』と『生命倫理』の比較を行った。累積寄与率が30%と説明率が低い結果となったが、生命倫理の制度面・国際的観点の着眼と看護倫理の実践的・教育的側面の特徴が示された。より客観性・妥当性の高い手法を導入する必要性が示唆された。(共同発表者: 平木早紀, 川原靖弘)
3. 総説				
4. 芸術 (建築模型等含む) ・スポーツ分野の業績				
5. 報告発表・翻訳・編集・座談会・討論・発表等				
6. 研究費の取得状況				
1. 電子カルテ記録の特徴語から倫理的課題を抽出するテキストデータ分類システムの検証	単	2021年4月1日～2023年3月31日	公益財団法人俱進会	研究助成区分: 大学院生 (代表: 平木早紀) 30万円

学会及び社会における活動等	
年月日	事項